

1 乳用牛

(1) 飼養戸数・頭数

平成25年2月1日現在（以下「平成25年」という。）の全国の乳用牛の飼養戸数は1万9,400戸で、廃業等により前年に比べて700戸（3.5%）減少した。

飼養頭数は142万3,000頭で、前年に比べて2万6,000頭（1.8%）減少した。飼養頭数の内訳をみると、経産牛は92万3,400頭で前年に比べて1万9,200頭（2.0%）減少し、未經産牛は50万100頭で前年に比べて6,300頭（1.2%）減少した。

なお、1戸当たりの飼養頭数は73.4頭で、前年に比べて1.3頭増加した。

図1 乳用牛の飼養戸数・頭数の推移

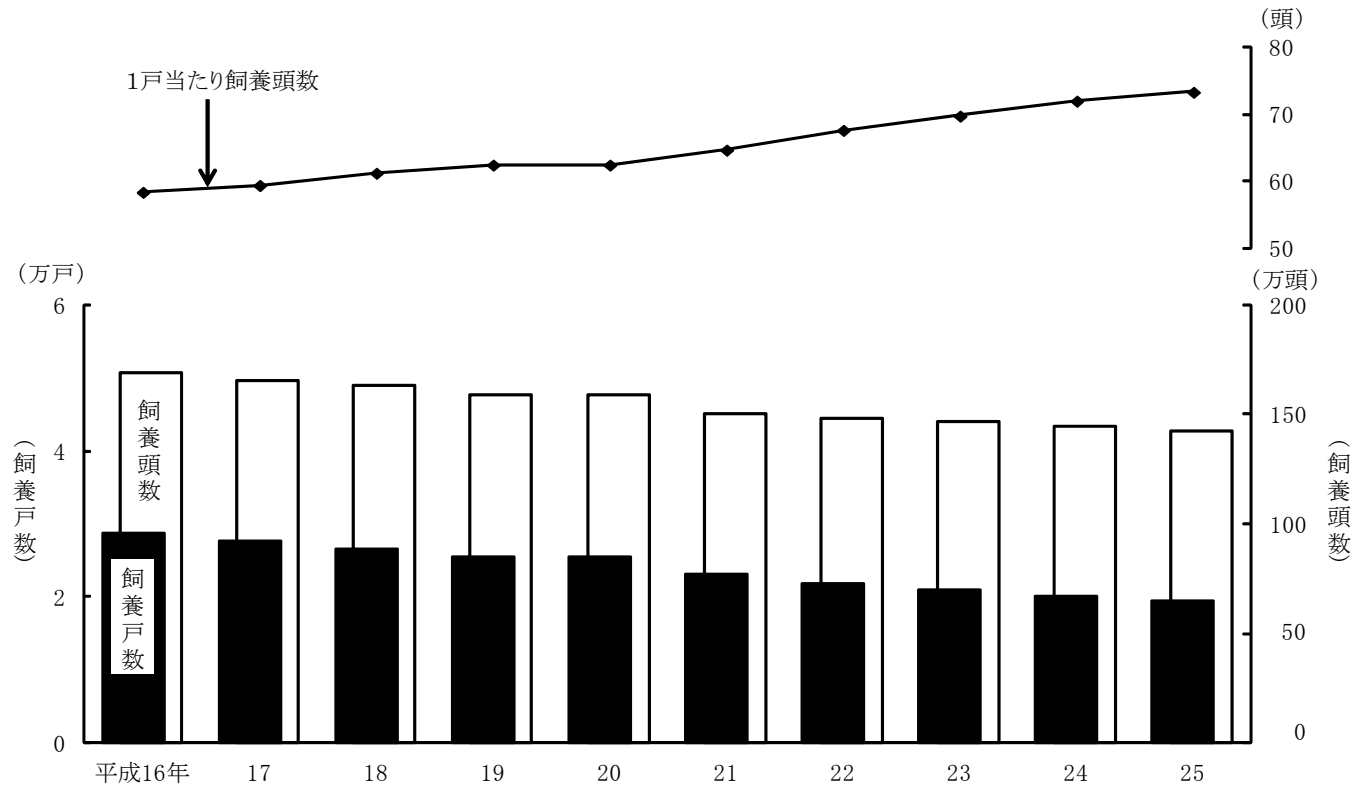


表1 乳用牛の飼養戸数・飼養頭数

区 分	飼養戸数	飼 養 頭 数					1 戸当たり 飼養頭数
		計	経 産 牛			未經産牛	
			小 計	搾乳牛	乾乳牛		
	戸	千頭	千頭	千頭	千頭	千頭	頭
実 数 平成 23年	21,000	1,467.0	932.9	804.7	128.2	534.4	69.9
24	20,100	1,449.0	942.6	812.7	129.9	506.4	72.1
25	19,400	1,423.0	923.4	798.3	125.1	500.1	73.4
対前年比（％） 24/23	95.7	98.8	101.0	101.0	101.3	94.8	－
25/24	96.5	98.2	98.0	98.2	96.3	98.8	－
構 成 比（％） 平成 23年	－	100.0	63.6	54.9	8.7	36.4	－
24	－	100.0	65.1	56.1	9.0	34.9	－
25	－	100.0	64.9	56.1	8.8	35.1	－

(2) 成畜（満2歳以上の牛）飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

乳用牛の飼養戸数・頭数を成畜（満2歳以上の牛）飼養頭数規模別（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。以下(3)及び(4)において同じ。）にみると、飼養戸数は前年に比べて80頭～99頭の階層で2.0%増加し、その他の階層で減少した。

また、飼養頭数は前年に比べて、1～19頭の階層で7.5%、30～49頭の階層で2.9%、80～99頭の階層で2.9%増加し、その他の階層で減少した。なお、100頭以上の階層（多くは北海道）の減少は成畜の更新時期に当たったことによる一時的なものである。

飼養頭数規模別の飼養頭数割合は100頭以上の階層が約3割を占めている。

図2 乳用牛の成畜飼養頭数規模別飼養戸数・頭数の構成比

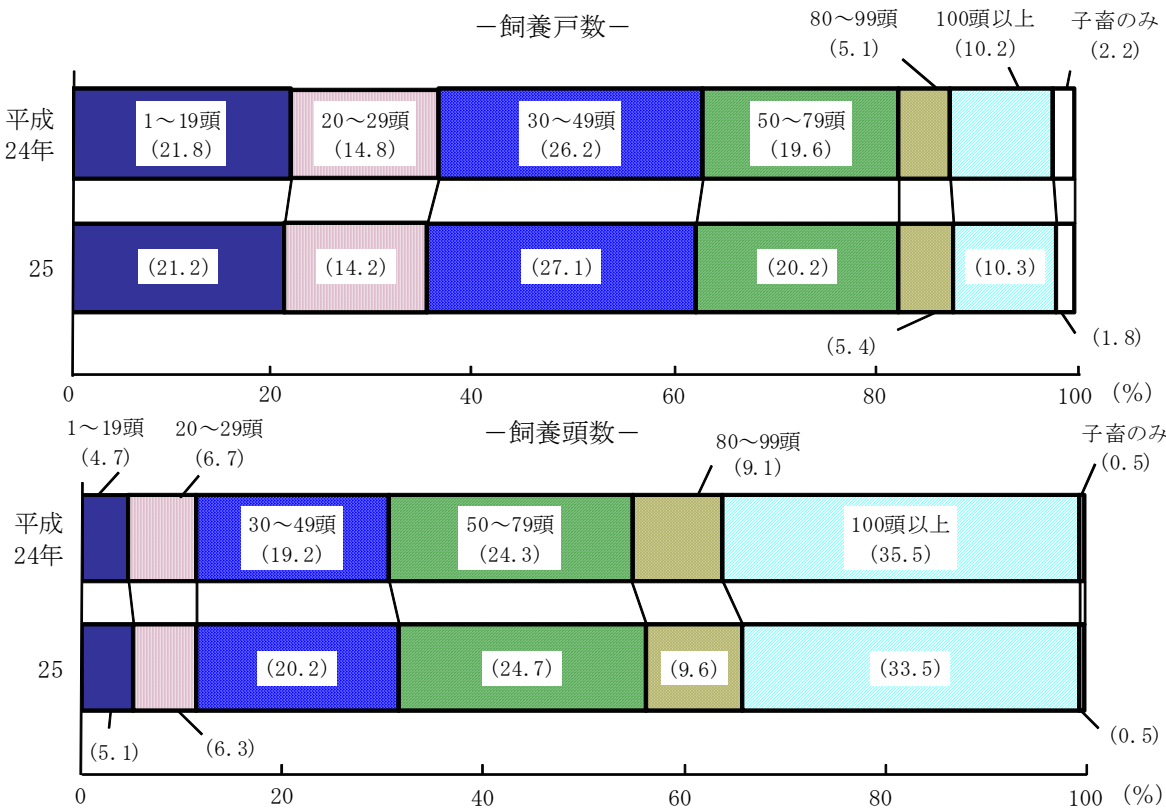


表2 乳用牛の成畜飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

区 分	単 位	計	成 畜 頭 数 規 模								子畜のみ
			小計	1～19頭	20～29	30～49	50～79	80～99	100頭 以上	300頭以上	
飼 養 戸 数											
実 数 平成 24年	戸	19,900	19,400	4,340	2,940	5,210	3,910	1,010	2,030	203	443
25	〃	19,100	18,800	4,050	2,710	5,170	3,860	1,030	1,960	198	347
対前年比 25/24	%	96.0	96.9	93.3	92.2	99.2	98.7	102.0	96.6	97.5	78.3
構 成 比 平成 24年	〃	100.0	97.5	21.8	14.8	26.2	19.6	5.1	10.2	1.0	2.2
25	〃	100.0	98.4	21.2	14.2	27.1	20.2	5.4	10.3	1.0	1.8
飼 養 頭 数											
実 数 平成 24年	千頭	1,423.0	1,415.0	66.5	95.3	273.2	345.9	129.6	504.8	137.8	7.7
25	〃	1,392.0	1,384.0	71.5	88.1	281.2	343.2	133.4	467.0	123.2	7.3
対前年比 25/24	%	97.8	97.8	107.5	92.4	102.9	99.2	102.9	92.5	89.4	94.8
構 成 比 平成 24年	〃	100.0	99.4	4.7	6.7	19.2	24.3	9.1	35.5	9.7	0.5
25	〃	100.0	99.4	5.1	6.3	20.2	24.7	9.6	33.5	8.9	0.5

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

(3) 乳用牛飼養者の経営耕地面積・飼料作物作付実面積

乳用牛飼養者のうち、調査期日前の1年間（平成24年2月から平成25年1月まで。以下同じ。）に飼料作物を作付けした戸数は1万6,900戸で、乳用牛飼養者の88.5%となっている。

これを全国農業地域別にみると、北海道、東北及び九州において乳用牛飼養者の9割以上が飼料作物を作付けしている。

図3 乳用牛飼養者の飼料作物作付戸数割合

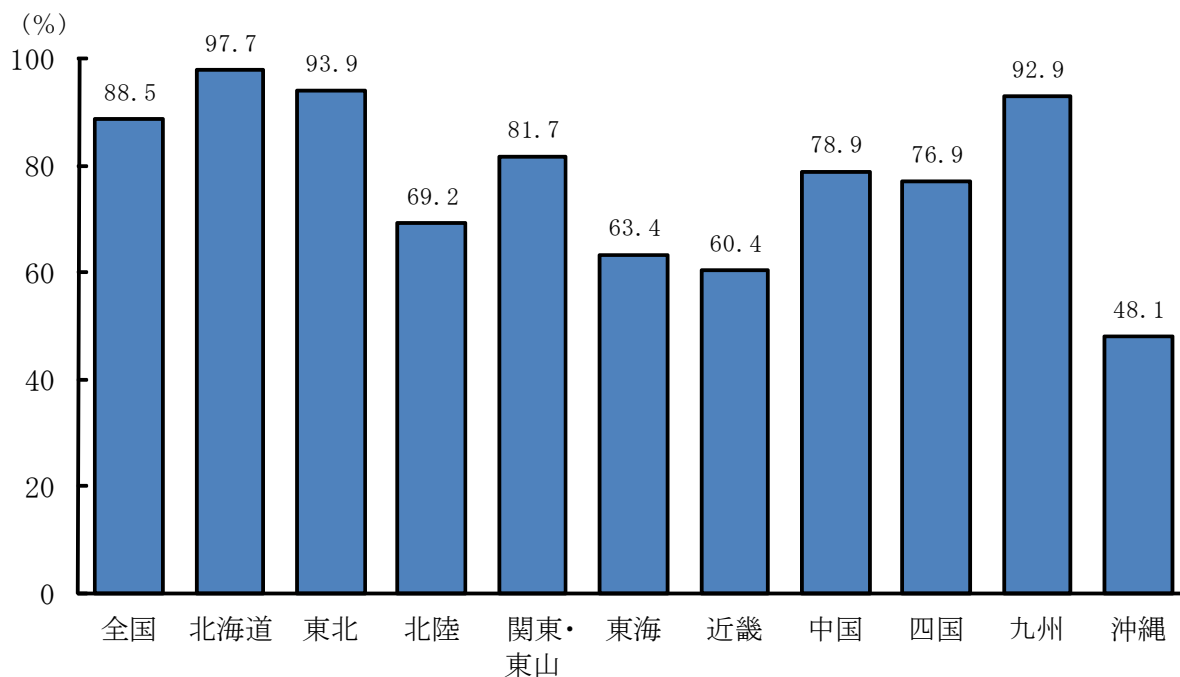


表3 乳用牛飼養者の経営耕地面積・飼料作物作付実面積

区 分	飼養戸数	飼料作物 作付戸数	飼料作物 作付戸数 割 合	経営耕地 面 積	飼 料 作 物 作付実面積
	戸	戸	%	ha	ha
全 国	19,100	16,900	88.5	517,100	482,100
北 海 道	7,080	6,920	97.7	438,200	417,100
東 北 北	2,960	2,780	93.9	33,900	26,300
陸	402	278	69.2	2,110	1,710
関 東 ・ 東 山	3,870	3,160	81.7	19,400	16,100
東 海	857	543	63.4	2,870	2,630
近 畿	649	392	60.4	1,380	970
中 国	919	725	78.9	4,580	4,110
四 国	455	350	76.9	1,270	1,050
九 州	1,840	1,710	92.9	13,200	12,000
沖 縄	79	38	48.1	120	90

注:この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

(4) 乳用牛の放牧状況

乳用牛飼養者のうち、調査期日前の1年間に乳用牛の放牧を行った戸数は5,710戸で、乳用牛飼養者の29.9%となっている。

これを全国農業地域別にみると、北海道では64.7%の飼養者が放牧を行っており、その他の地域を大きく上回っている。

図 4 乳用牛飼養者の放牧実施戸数割合

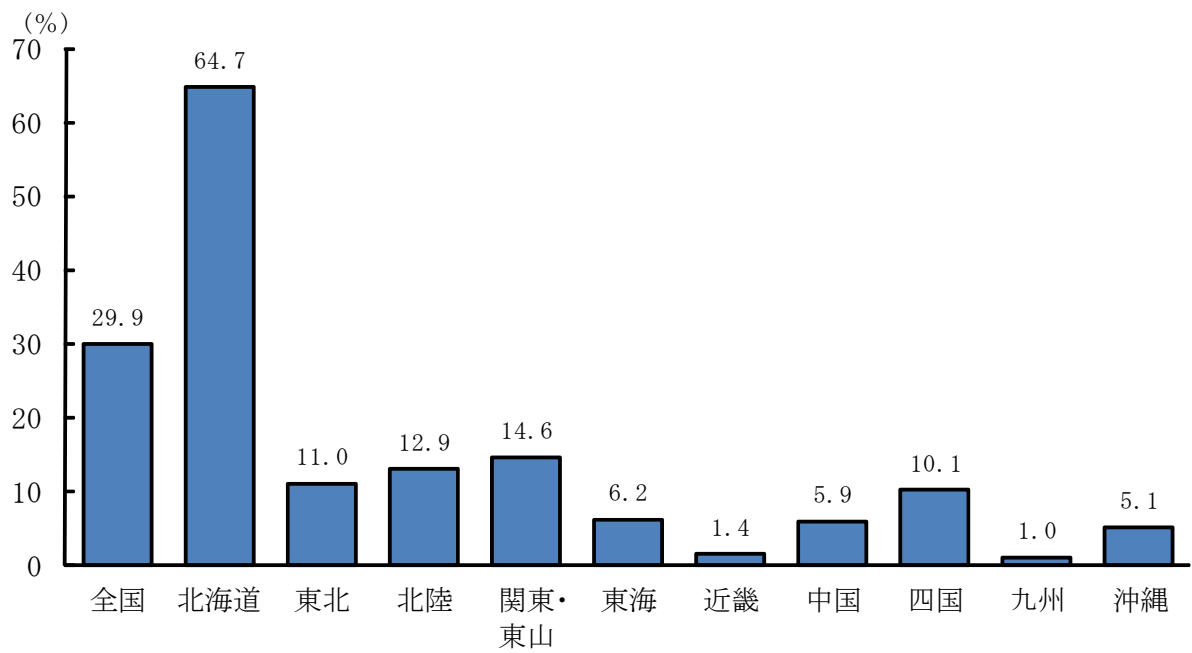


表 4 乳用牛の放牧状況

区 分	飼養戸数	放牧をして いる 戸 数	放牧実施 戸数割合	放牧頭数
	戸	戸	%	頭
全 国	19,100	5,710	29.9	271,100
北 海 道	7,080	4,580	64.7	254,000
東 北	2,960	325	11.0	5,190
北 陸	402	52	12.9	430
関 東 ・ 東 山	3,870	566	14.6	6,980
東 海	857	53	6.2	1,430
近 畿	649	9	1.4	130
中 国	919	54	5.9	1,170
四 国	455	46	10.1	790
九 州	1,840	18	1.0	1,000
沖 縄	79	4	5.1	20

注:この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

2 肉用牛

(1) 飼養戸数・頭数

平成25年の全国の肉用牛の飼養戸数は6万1,300戸で、廃業等により前年に比べて3,900戸(6.0%)減少した。

飼養頭数は264万2,000頭で、前年に比べて8万1,000頭(3.0%)減少した。飼養頭数の内訳をみると、肉用種は176万9,000頭で前年に比べて6万2,000頭(3.4%)減少し、乳用種は87万3,400頭で前年に比べて1万8,300頭(2.1%)減少した。

また、乳用種のうち、ホルスタイン種他は37万5,500頭で前年に比べて1万7,000頭(4.3%)減少し、交雑種(F1牛、F1クロス牛)は49万7,900頭で前年に比べて1,200頭(0.2%)減少した。

なお、1戸当たり飼養頭数は、43.1頭で前年に比べて1.3頭増加した。

図5 肉用牛の飼養戸数・頭数の推移

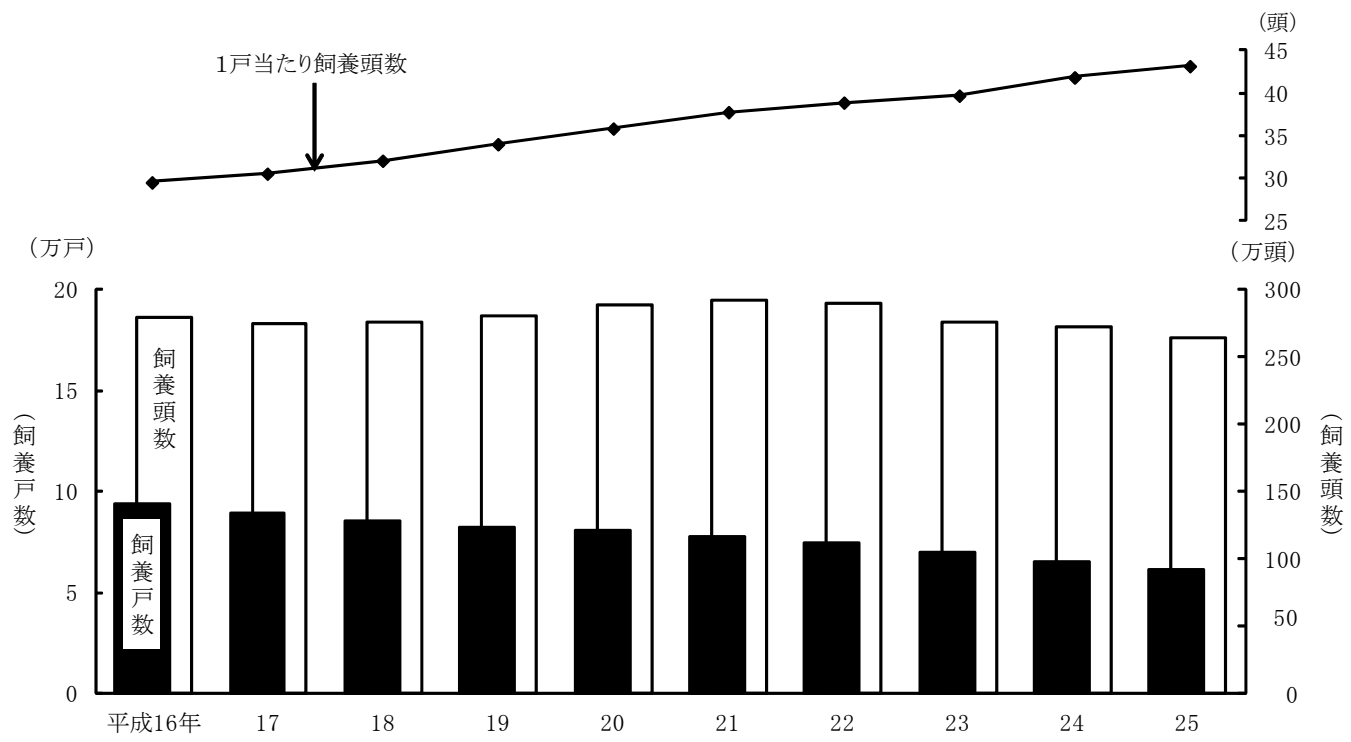


表5 肉用牛の飼養戸数・頭数

区 分	飼養戸数	飼 養 頭 数					1 戸当たり 飼養頭数
		計	肉用種	乳 用 種			
				小 計	ホルスタイン種他	交雑種	
	戸	千頭	千頭	千頭	千頭	千頭	頭
実 数 平成 23年	69,600	2,763.0	1,868.0	894.8	411.8	483.0	39.7
24	65,200	2,723.0	1,831.0	891.7	392.5	499.1	41.8
25	61,300	2,642.0	1,769.0	873.4	375.5	497.9	43.1
対前年比（％） 24/23	93.7	98.6	98.0	99.7	95.3	103.3	－
25/24	94.0	97.0	96.6	97.9	95.7	99.8	－
構 成 比（％） 平成 23年	－	100.0	67.6	32.4	14.9	17.5	－
24	－	100.0	67.2	32.7	14.4	18.3	－
25	－	100.0	67.0	33.1	14.2	18.8	－

(2) 飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

ア 総飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

総飼養頭数規模別（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。以下イ及びウ並びに(3)及び(4)において同じ。）にみると、飼養戸数は前年に比べて20～49頭の階層で1.5%増加し、その他の階層で前年と同じ又は減少した。

また、飼養頭数は前年に比べて20～49頭の階層で2.7%増加し、その他の階層で減少した。

なお、飼養頭数規模別の飼養頭数割合は200頭以上の階層で飼養頭数の約5割を占めている。

図6 肉用牛の総飼養頭数規模別飼養戸数・頭数の構成比

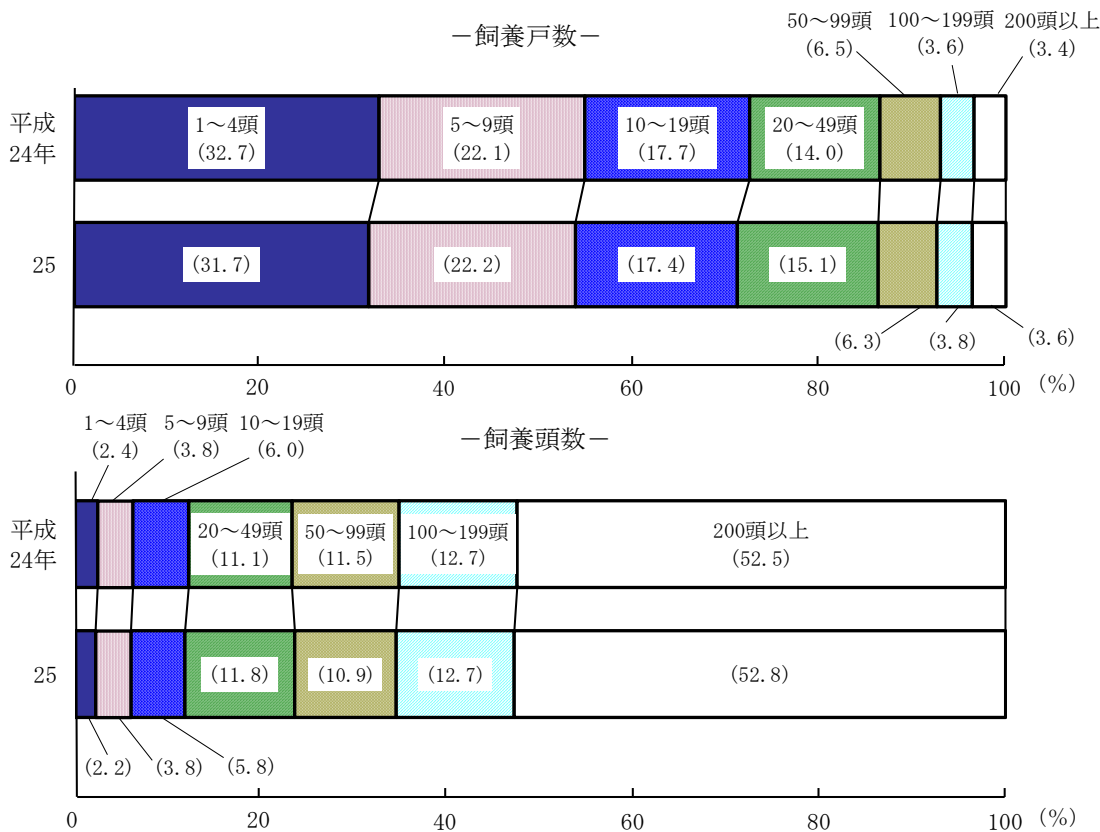


表6 肉用牛の総飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

区 分	単 位	総 飼 養 頭 数 規 模								
		計	1 ～ 4 頭	5 ～ 9	10～19	20～49	50～99	100～199	200頭以上	500頭以上
飼 養 戸 数										
実 数 平成 24年	戸	64,800	21,200	14,300	11,500	9,050	4,240	2,340	2,190	733
25	〃	60,900	19,300	13,500	10,600	9,190	3,820	2,300	2,190	718
対 前 年 比 25/24	%	94.0	91.0	94.4	92.2	101.5	90.1	98.3	100.0	98.0
構 成 比 平成 24年	〃	100.0	32.7	22.1	17.7	14.0	6.5	3.6	3.4	1.1
25	〃	100.0	31.7	22.2	17.4	15.1	6.3	3.8	3.6	1.2
飼 養 頭 数										
実 数 平成 24年	千頭	2,698.0	65.0	103.6	162.2	299.5	310.3	342.6	1,415.0	934.7
25	〃	2,618.0	58.4	100.1	152.2	307.7	284.3	333.3	1,382.0	921.7
対 前 年 比 25/24	%	97.0	89.8	96.6	93.8	102.7	91.6	97.3	97.7	98.6
構 成 比 平成 24年	〃	100.0	2.4	3.8	6.0	11.1	11.5	12.7	52.5	34.6
25	〃	100.0	2.2	3.8	5.8	11.8	10.9	12.7	52.8	35.2

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

イ 肉用種の目的別飼養頭数別飼養戸数

(ア) 子取り用めす牛

肉用種の子取り用めす牛を飼養している戸数は5万3,000戸で、肉用牛飼養戸数の87.0%となっている。

飼養頭数規模別にみると、前年に比べて100頭以上の階層で増加し、その他の階層で減少した。

表7 子取り用めす牛の飼養頭数規模別飼養戸数

単位：戸

区 分	肉用牛の 飼養戸数	子 取 り 用 め す 牛 飼 養 頭 数 規 模							子取り用 めす牛 なし
		計	1～4頭	5～9	10～19	20～49	50～99	100頭 以上	
実 数 平成 24年	64,800	56,100	27,300	13,300	8,500	5,260	1,310	382	8,690
25	60,900	53,000	25,900	12,100	8,220	5,200	1,190	437	7,920
対前年比 (%) 25/24	94.0	94.5	94.9	91.0	96.7	98.9	90.8	114.4	91.1
構 成 比 (%) 平成 24年	100.0	86.6	42.1	20.5	13.1	8.1	2.0	0.6	13.4
25	100.0	87.0	42.5	19.9	13.5	8.5	2.0	0.7	13.0

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

(イ) 肥育用牛

肉用種の肥育用牛を飼養している戸数は1万戸で、肉用牛飼養戸数の16.4%となっている。

飼養頭数規模別にみると、前年に比べて10～19頭の階層で同数、20～29頭の階層で増加し、その他の階層で減少した。

表8 肥育用牛の飼養頭数規模別飼養戸数

単位：戸

単位：戸											
区 分	肉用牛の 飼養戸数	肥 育 用 牛 飼 養 頭 数 規 模								肥育用牛 な し	
		計	1 ～ 9 頭	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200頭 以 上		500頭 以上
実 数 平成 24年	64,800	10,400	3,880	1,190	779	1,040	1,480	1,130	943	245	54,400
25	60,900	10,000	3,710	1,190	868	912	1,370	1,050	927	257	50,900
対前年比 (%) 25/24	94.0	96.2	95.6	100.0	111.4	87.7	92.6	92.9	98.3	104.9	93.6
構 成 比 (%) 平成 24年	100.0	16.0	6.0	1.8	1.2	1.6	2.3	1.7	1.5	0.4	84.0
25	100.0	16.4	6.1	2.0	1.4	1.5	2.2	1.7	1.5	0.4	83.6

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

ウ 乳用種の飼養頭数規模別飼養戸数

肉用の乳用種（乳廃牛は除く。）を飼養している戸数は5,810戸で、肉用牛飼養戸数の9.5%となっている。

飼養頭数規模別にみると、前年に比べて1～4頭及び20～49頭の階層で増加し、その他の階層で減少した。

表9 乳用種の飼養頭数規模別飼養戸数

単位：戸

区 分	肉用牛の 飼養戸数	乳 用 種 飼 養 頭 数 規 模								乳用種 な し
		計	1 ～ 4 頭	5 ～ 19	20～49	50～99	100～199	200頭 以 上	500頭 以上	
実 数 平成 24年	64,800	5,920	2,010	1,030	647	578	631	1,030	396	58,900
25	60,900	5,810	2,050	989	653	537	582	1,000	398	55,100
対前年比 (％) 25/24	94.0	98.1	102.0	96.0	100.9	92.9	92.2	97.1	100.5	93.5
構 成 比 (％) 平成 24年	100.0	9.1	3.1	1.6	1.0	0.9	1.0	1.6	0.6	90.9
25	100.0	9.5	3.4	1.6	1.1	0.9	1.0	1.6	0.7	90.5

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

(3) 肉用牛飼養者の経営耕地面積・飼料作物作付面積の状況

肉用牛飼養者のうち、調査期日前の1年間に飼料作物を作付けした戸数は5万1,000戸で肉用牛飼養者の83.7%となっている。

これを全国農業地域別にみると、九州で肉用牛飼養者の約9割が飼料作物を作付けしている。

図7 肉用牛飼養者の飼料作物作付戸数割合

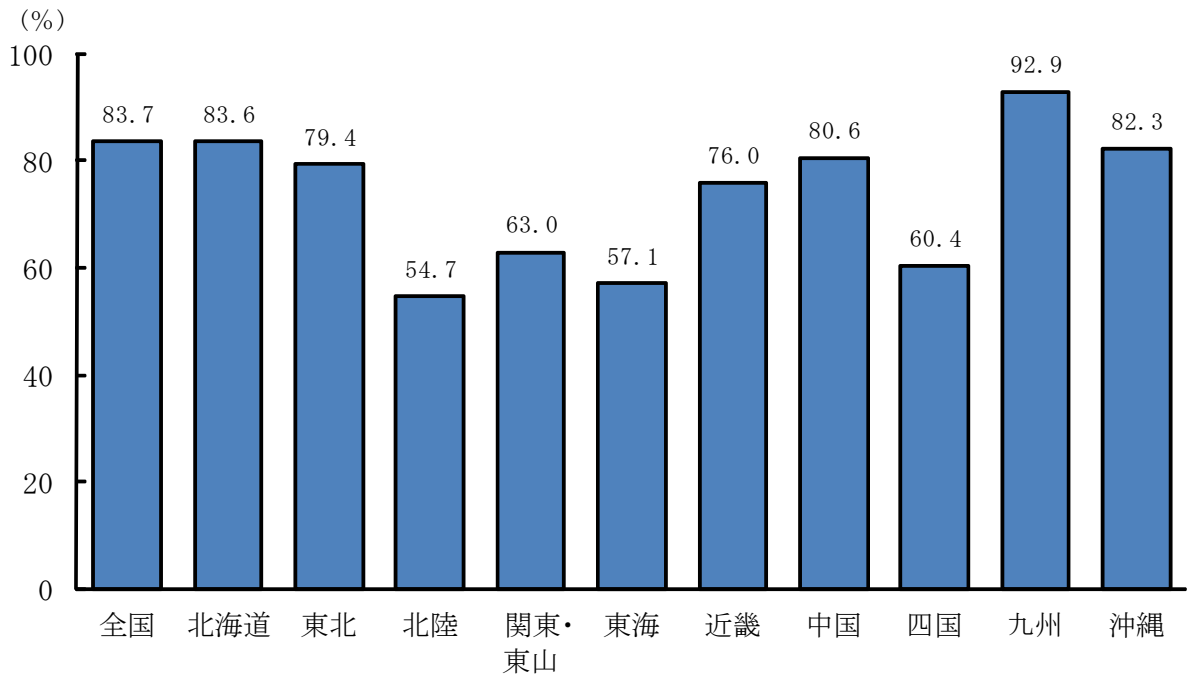


表10 肉用牛飼養者の経営耕地面積・飼料作物作付実面積

区 分	飼養戸数	飼料作物 作付戸数	飼料作物 作付戸数 割 合	経営耕地 面 積	飼 料 作 物 作付実面積
	戸	戸	%	ha	ha
全 国	60,900	51,000	83.7	251,800	182,900
北 海 道	2,800	2,340	83.6	90,400	79,700
東 北	16,500	13,100	79.4	66,900	34,100
北 陸	477	261	54.7	1,360	670
関 東 ・ 東 山	3,760	2,370	63.0	11,600	7,000
東 海	1,360	776	57.1	2,790	1,730
近 畿	1,920	1,460	76.0	2,440	1,310
中 国	3,400	2,740	80.6	8,610	3,660
四 国	888	536	60.4	1,320	770
九 州	26,800	24,900	92.9	59,400	49,000
沖 縄	3,000	2,470	82.3	6,970	4,940

注:この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

(4) 肉用牛の放牧状況

肉用牛飼養者のうち、調査期直前の1年間に肉用牛の放牧を行った戸数は7,120戸で、肉用牛飼養者の11.7%となっている。

これを全国農業地域別にみると、北海道では42.5%の飼養者が放牧を行っており、その他の地域を大きく上回っている。

図8 肉用牛飼養者の放牧実施戸数割合

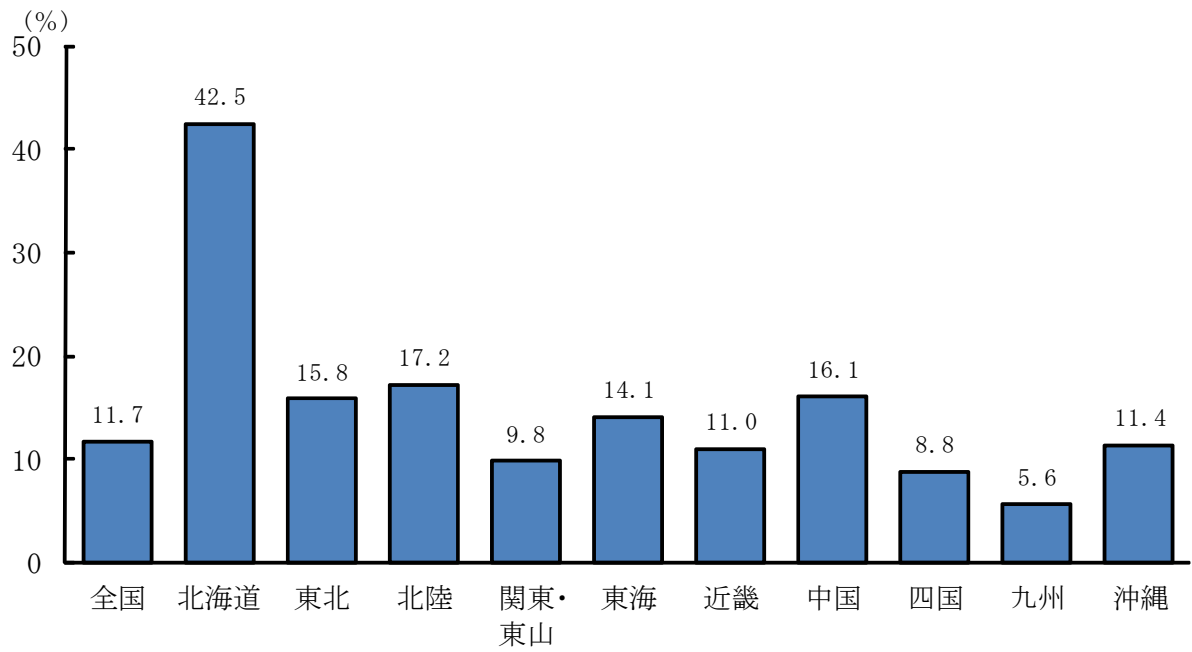


表11 肉用牛の放牧状況

区 分	飼養戸数	放牧をして いる 戸 数	放牧実施 戸数割合	放牧頭数
	戸	戸	%	頭
全 国	60,900	7,120	11.7	101,400
北 海 道	2,800	1,190	42.5	43,200
東 北	16,500	2,610	15.8	20,000
北 陸	477	82	17.2	380
関 東 ・ 東 山	3,760	370	9.8	2,680
東 海	1,360	192	14.1	1,580
近 畿	1,920	211	11.0	1,700
中 国	3,400	548	16.1	5,860
四 国	888	78	8.8	860
九 州	26,800	1,490	5.6	16,700
沖 縄	3,000	342	11.4	8,560

注:この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

3 豚

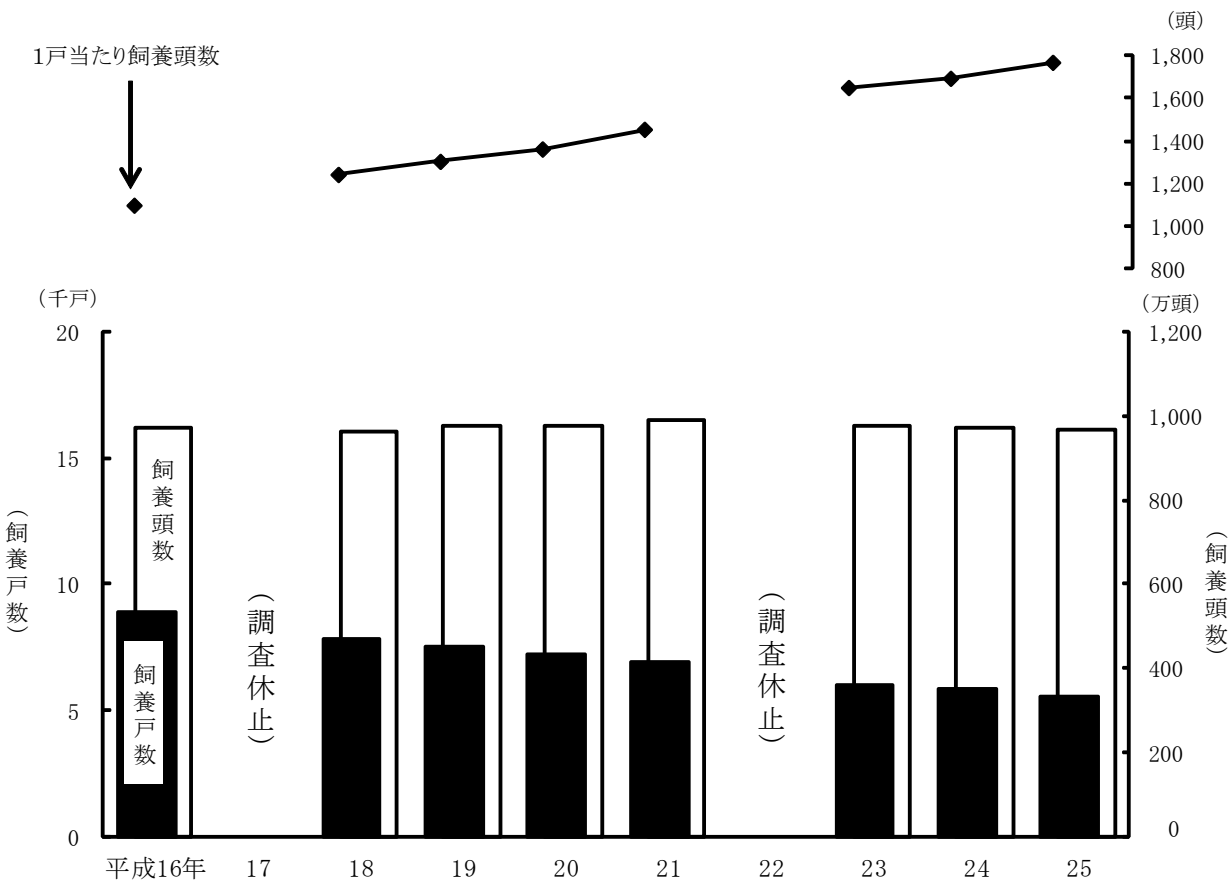
(1) 飼養戸数・頭数

平成25年の全国の豚の飼養戸数は5,570戸で、廃業等により前年に比べて270戸（4.6%）減少した。

飼養頭数は968万5,000頭で、前年に比べて5万頭（0.5%）減少した。飼養頭数の内訳をみると、子取り用めす豚は89万9,700頭で前年並み、肥育豚は810万6,000頭で前年に比べて3万9,000頭（0.5%）減少した。

なお、1戸当たり飼養頭数は1,738.8頭で前年に比べて71.8頭増加し、1戸当たり子取り用めす豚飼養頭数は194.7頭で前年に比べて11.0頭増加した。

図9 豚の飼養戸数・頭数の推移



注：平成17年は2005年農林業センサス、22年は2010年世界農林業センサス実施年のため、調査を休止した。

表12 豚の飼養戸数・頭数

区 分	飼養戸数	子取り用 めす豚の いる戸数	飼 養 頭 数					1戸当たり 飼養頭数	子取り用 めす豚
			計	子取り用 めす豚	種おす豚	肥育豚	その他		
	戸	戸	千頭	千頭	千頭	千頭	千頭	頭	頭
実 数 平成 23年	6,010	5,110	9,768.0	901.8	51.8	8,186.0	628.7	1,625.3	176.5
24	5,840	4,900	9,735.0	900.0	51.9	8,145.0	638.7	1,667.0	183.7
25	5,570	4,620	9,685.0	899.7	49.1	8,106.0	629.5	1,738.8	194.7
対前年比 24/23	97.2	95.9	99.7	99.8	100.2	99.5	101.6	-	-
(%) 25/24	95.4	94.3	99.5	100.0	94.6	99.5	98.6	-	-
構 成 比 平成 23年	100.0	85.0	100.0	9.2	0.5	83.8	6.4	-	-
(%) 24	100.0	83.9	100.0	9.2	0.5	83.7	6.6	-	-
25	100.0	82.9	100.0	9.3	0.5	83.7	6.5	-	-

(2) 肥育豚飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

肥育豚飼養頭数規模別（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。）にみると、飼養戸数は前年に比べて500～999頭の階層で3.8%、2,000頭以上の階層で4.4%増加し、その他の階層で減少した。

また、飼養頭数は前年に比べて100～299の階層で1.2%、500～999頭の階層で0.8%、2,000頭以上の階層で3.0%増加し、その他の階層で減少した。

なお、「2,000頭以上」の階層で飼養頭数の約7割を占めている。

図10 豚の肥育豚飼養頭数規模別飼養戸数・頭数の構成比

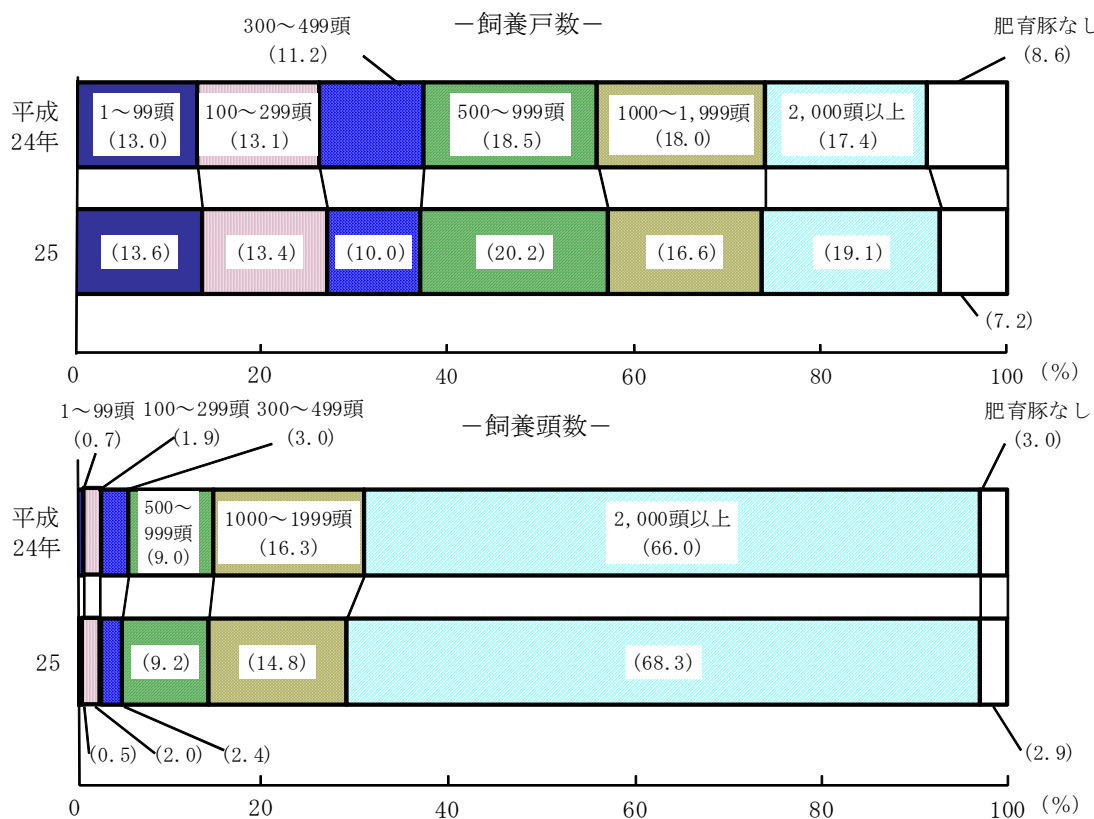


表13 豚の肥育豚飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

区 分	単 位	計	肥 育 豚 飼 養 頭 数 規 模								肥 育 豚 な し
			小 計	1 ～	100 ～	300 ～	500 ～	1,000 ～	2,000頭	う ち、 3,000頭以上	
				99頭	299	499	999	1,999	以 上		
飼 養 戸 数											
実 数 平成 24年	戸	5,670	5,180	738	745	635	1,050	1,020	987	619	490
25	〃	5,400	5,010	734	724	538	1,090	896	1,030	630	387
対前年比 25/24	%	95.2	96.7	99.5	97.2	84.7	103.8	87.8	104.4	101.8	79.0
構 成 比 平成 24年	〃	100.0	91.4	13.0	13.1	11.2	18.5	18.0	17.4	10.9	8.6
25	〃	100.0	92.8	13.6	13.4	10.0	20.2	16.6	19.1	11.7	7.2
飼 養 頭 数											
実 数 平成 24年	千頭	9,692.0	9,397.0	70.3	186.2	291.2	876.2	1,580.0	6,394.0	5,294.0	294.7
25	〃	9,643.0	9,360.0	47.7	188.4	234.6	883.2	1,424.0	6,583.0	5,393.0	283.0
対前年比 25/24	%	99.5	99.6	67.9	101.2	80.6	100.8	90.1	103.0	101.9	96.0
構 成 比 平成 24年	〃	100.0	97.0	0.7	1.9	3.0	9.0	16.3	66.0	54.6	3.0
25	〃	100.0	97.1	0.5	2.0	2.4	9.2	14.8	68.3	55.9	2.9

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

4 採卵鶏

(1) 飼養戸数・羽数

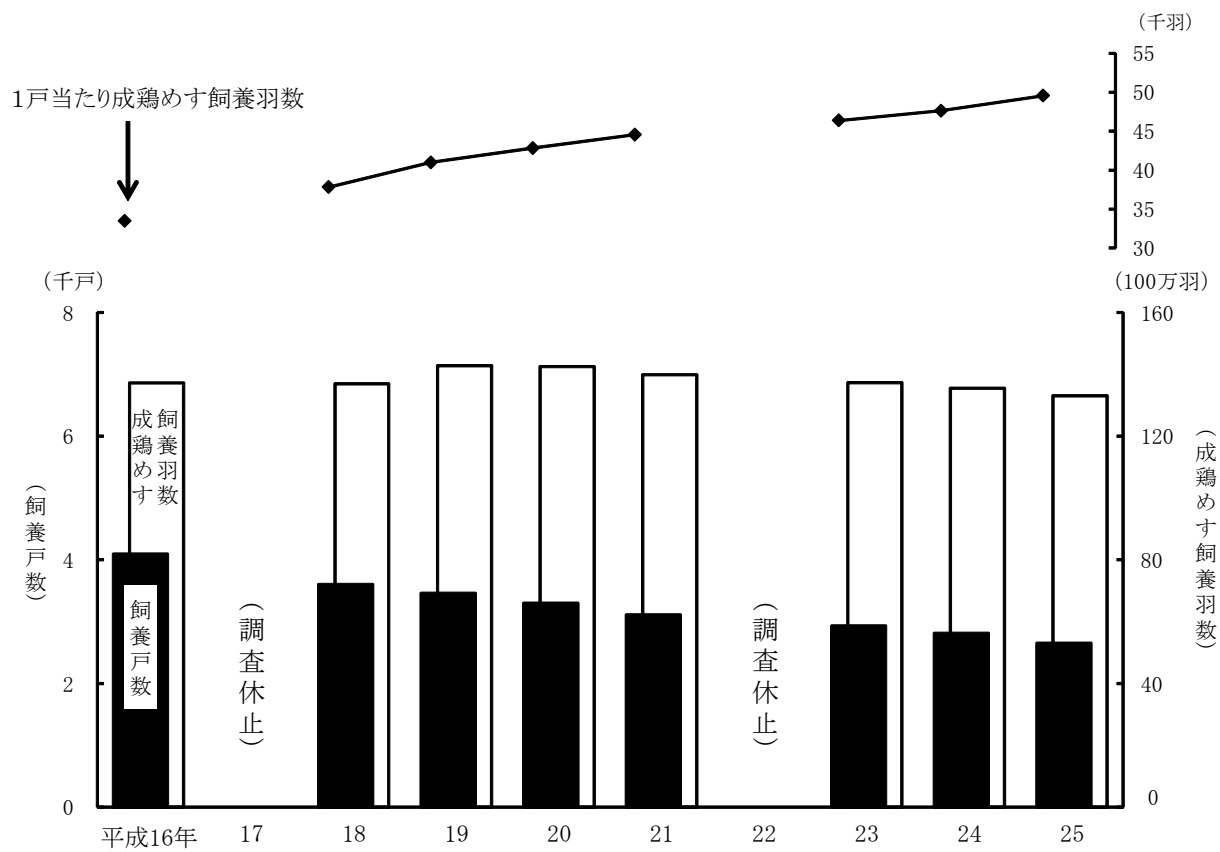
平成25年の全国の採卵鶏の飼養戸数は2,650戸で、飼料価格の高騰による廃業等により前年に比べて160戸（5.7％）減少した。

採卵鶏（種鶏を除く）の飼養羽数は1億7,223万8,000羽で、前年に比べて271万1,000羽（1.5％）減少した。

このうち、成鶏めすの飼養羽数は1億3,308万5,000羽で、前年に比べて239万2,000羽（1.8％）減少した。

なお、1戸当たり成鶏めす飼養羽数は5万200羽で前年に比べて2,000羽増加した。

図11 採卵鶏の飼養戸数・羽数の推移



注：平成17年は2005年農林業センサス、22年は2010年世界農林業センサス実施年のため、調査を休止した。

表14 採卵鶏の飼養戸数・羽数

区 分	採卵鶏の飼養戸数	飼 養 羽 数			1戸当たり成鶏めす飼養羽数
		計	採卵鶏(種鶏を除く)	成鶏めす(6か月以上)	
	戸	千羽	千羽	千羽	千羽
実 数 平成 23年	2,930	178,546	175,917	137,352	46.9
24	2,810	177,607	174,949	135,477	48.2
25	2,650	174,784	172,238	133,085	50.2
対前年比 (%) 24/23	95.9	99.5	99.4	98.6	-
25/24	94.3	98.4	98.5	98.2	-
構 成 比 (%) 平成 23年	-	100.0	98.5	76.9	-
24	-	100.0	98.5	76.3	-
25	-	100.0	98.5	76.1	-

注：採卵鶏の飼養戸数には種鶏のみの飼養者及び成鶏めす1,000羽未満の飼養者を含めていない。

(2) 成鶏めす飼養羽数規模別飼養戸数・成鶏めす飼養羽数

成鶏めす飼養羽数規模別（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。）にみると、飼養戸数は前年に比べて1,000～4,999羽の階層で前年と同じ、100,000羽の階層で0.3%増加し、その他の階層で減少した。また、成鶏めす飼養羽数は前年に比べて100,000羽以上の階層で1.4%増加し、その他の階層で減少した。

なお、100,000羽以上の階層で飼養羽数の約7割を占めている。

図12 成鶏めす飼養羽数規模別飼養戸数・成鶏めす飼養羽数の構成比

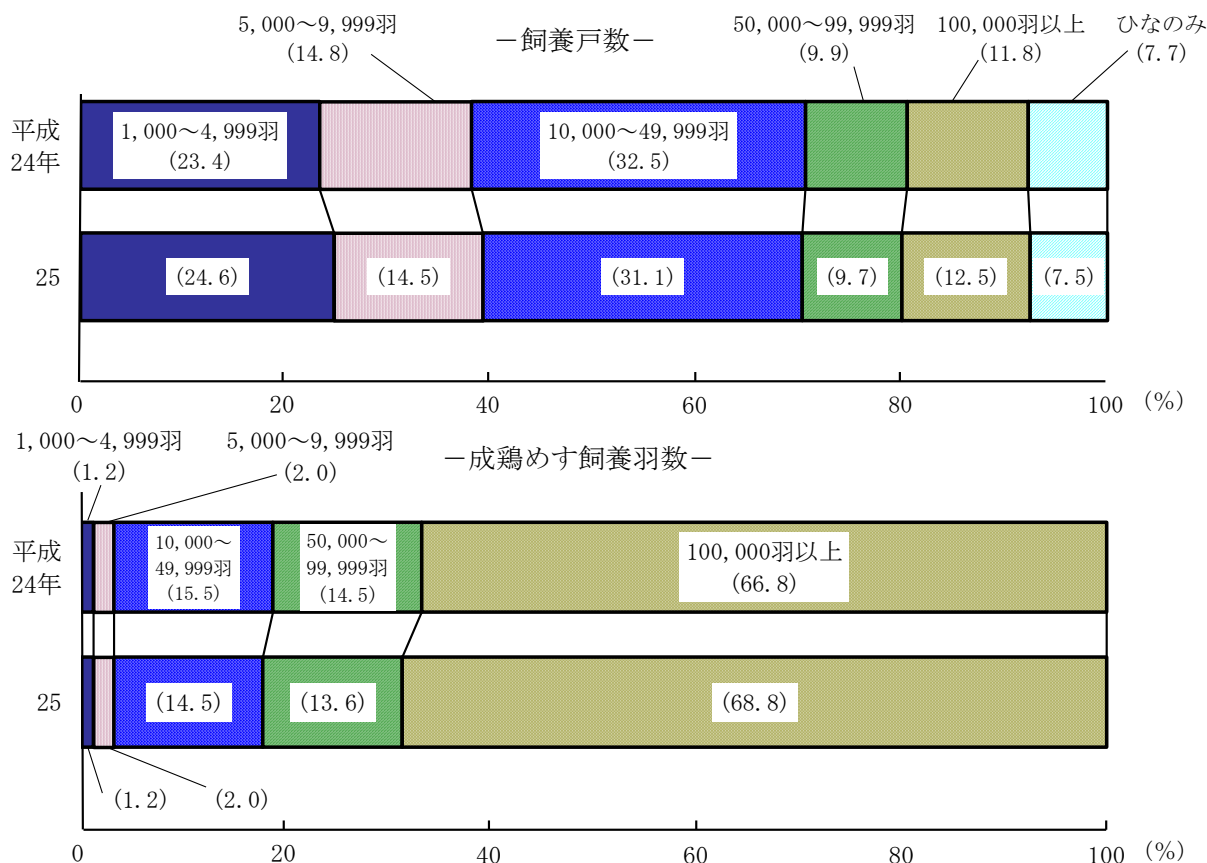


表15 成鶏めす飼養羽数規模別飼養戸数・成鶏めす飼養羽数

区 分	単 位	計	成 鶏 め す 飼 養 羽 数 規 模					ひなのみ
			1000 ～ 4,999	5,000 ～ 9,999	10,000 ～ 49,999	50,000 ～ 99,999	100,000羽 以 上	
飼 養 戸 数								
実 数 平成 24年	戸	2,770	648	410	900	274	327	213
25	〃	2,630	648	381	817	255	328	196
対 前 年 比 25/24	%	94.9	100.0	92.9	90.8	93.1	100.3	92.0
構 成 比 平成 24年	〃	100.0	23.4	14.8	32.5	9.9	11.8	7.7
25	〃	100.0	24.6	14.5	31.1	9.7	12.5	7.5
成鶏めす飼養羽数								
実 数 平成 24年	千羽	135,282	1,600	2,764	20,980	19,624	90,314	-
25	〃	133,032	1,568	2,595	19,276	18,037	91,556	-
対 前 年 比 25/24	%	98.3	98.0	93.9	91.9	91.9	101.4	-
構 成 比 平成 24年	〃	100.0	1.2	2.0	15.5	14.5	66.8	-
25	〃	100.0	1.2	2.0	14.5	13.6	68.8	-

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

5 ブロイラー

(1) 飼養・出荷の戸数・羽数

平成25年の全国のブロイラーの飼養戸数は2,420戸、飼養羽数は1億3,162万4,000羽で、1戸当たり飼養羽数は5万4,400羽であった。

出荷戸数は2,440戸、出荷羽数は6億4,977万8,000羽で、1戸当たり出荷羽数は26万6,300羽であった。

表16 ブロイラーの飼養・出荷の戸数・羽数

区 分	飼養戸数	飼養羽数	出荷戸数	出荷羽数	1戸当たり 飼養羽数	1戸当たり 出荷羽数
	戸	千羽	戸	千羽	千羽	千羽
平成 25年	2,420	131,624	2,440	649,778	54.4	266.3

注：1 ブロイラーの飼養・出荷戸数には、ブロイラーの出荷羽数年間3,000羽未満の飼養者を含めていない。

飼養・出荷羽数は、年間出荷羽数3,000羽以上の飼養者の飼養・出荷羽数である。

2 2月1日現在で飼養のない場合でも、前1年間に3,000羽以上の出荷があれば出荷戸数に含めている。

(2) ブロイラーの出荷羽数規模別出荷戸数・出荷羽数

出荷羽数規模別（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。）に出荷戸数をみると、出荷戸数割合は、100,000羽以上の階層が約7割を占めている。

また、出荷羽数は、500,000羽以上の階層が約4割を占めている。

図13 ブロイラーの出荷羽数規模別出荷戸数・出荷羽数の構成比

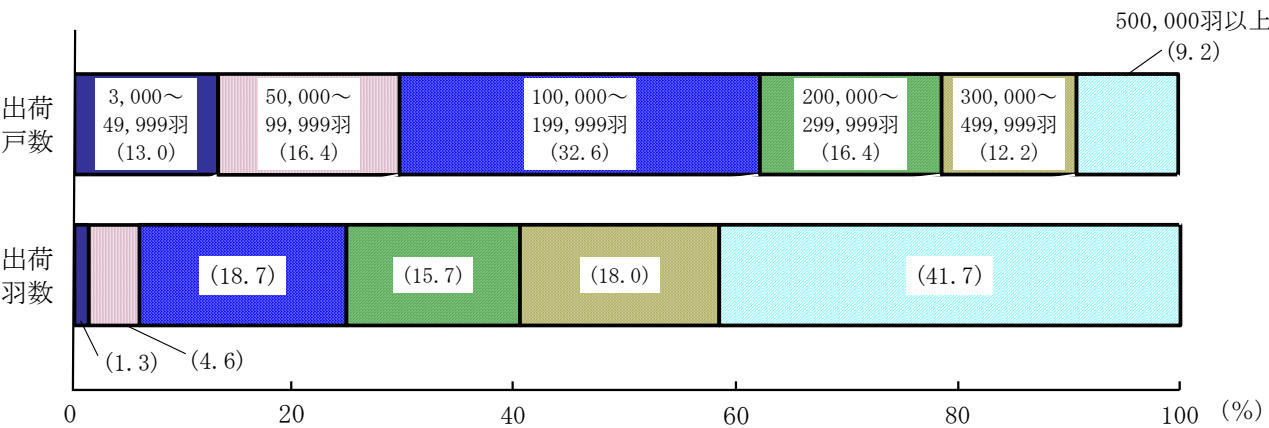


表17 ブロイラーの出荷羽数規模別出荷戸数・出荷羽数

区 分	単位	計	3,000～ 49,999羽	50,000～ 99,999	100,000～ 199,999	200,000～ 299,999	300,000～ 499,999	500,000羽 以 上
出 荷 戸 数								
実 数 平成 25年	戸	2,440	316	401	795	401	298	225
構 成 比	%	100.0	13.0	16.4	32.6	16.4	12.2	9.2
出 荷 羽 数								
実 数 平成 25年	千羽	649,765	8,167	29,880	121,803	102,059	117,078	270,778
構 成 比	%	100.0	1.3	4.6	18.7	15.7	18.0	41.7

注：この表には、学校、試験場等の非営利的組織を含まない。